

【教養学部グローバルコミュニケーション研究センターより】

**IELTS 団体受験者 追加募集**

IELTS 団体受験について、以下のとおり追加募集をします。

IELTS の団体受験費用は大学が負担します。

IELTS (アイエルツ) とは、TOEFL と並んで、英語力測定の国際基準として、全世界で認められている試験です。英語圏への留学を目指す人や、語学力の自己点検をしたい学生は応募してください。

◆◆◆◆◆ 募集要項 ◆◆◆◆◆

応募資格: 東大教養学部 4月入学の1年生 (但し、既に団体受験者として登録している学生や、一度は登録されていた学生は除く。)

募集期間: 2013年11月13日(水)～11月22日(金)

募集人数: 61名

選考方法: 抽選(抽選結果は11月26日にUTaskにて発表)

応募先: <http://www.cgcs.c.u-tokyo.ac.jp/ielts/>

応募条件: 以下の条件すべてに同意した上で応募すること。

(1) IELTSを必ず2回受験すること。(1回目は2013年度、2回目は2014年度)

1回目: 2014年1月から2014年2月末までの7回の受験日のいずれかに受験。

末尾カッコ内は申込締切日(17時書類必着)

1月11日(土)東京	*スピーキングは1月12日(日)	(12月6日)
1月18日(土)東京	*スピーキングは1月19日(日)	(12月13日)
1月25日(土)横浜	*スピーキングも同日	(12月20日)
2月1日(土)東京	*スピーキングは2月2日(日)	(12月27日)
2月13日(木)東京	*スピーキングも同日	(1月8日)
2月22日(土)東京	*スピーキングは2月23日(日)	(1月17日)
2月22日(土)横浜	*スピーキングも同日	(1月17日)

2回目: 2014年度に受験。詳細は後日発表。

(次頁につづく)

- (2) 2回のIELTS受験料 (24,675円x 2回) は大学が負担する。
- (3) 受験には、身分証明書としてパスポートが必須である。パスポートは受験申し込みの際に使用し、試験日当日に有効なものであること。パスポート未保持の者は、自費で申請すること。
- (4) 「アカデミック」モジュールを選択すること。
- (5) 試験日決定後、2回以上受験日を変更する場合の変更手数料 (6,100円) は学生が負担する。  
但し、試験日5週間前の金曜午後5時以降 (木曜実施は水曜日午後5時) の変更は不可。
- (6) 受験会場への交通費は学生が負担する。
- (7) 追加成績証明書が必要な場合は、それにかかる手数料 (一通 1,050円) は学生が負担する。
- (8) 受験結果がグローバルコミュニケーション研究センターに通知されることに同意し、また同センターでの教育開発、語学習熟に関する分析や研究に使用される可能性があることにも同意する。
- (9) 申し込み後は、キャンセルできません。今年度、来年度2回受験することについて、よく考えてから応募すること。

IELTSについては、以下を参照すること。

<http://www.eiken.or.jp/ielts/>

<http://www.ielts.org/>

TOEFLとの違い

- \* スピーキングは試験官と直接話す。  
(TOEFLは機械に吹き込む。)
- \* 他の3技能は紙による筆記試験。  
(TOEFLはパソコンで解答する。)

IELTS団体受験のメリット

- 1) 受験料が2回無料。
- 2) IELTSのスコアは2年有効。海外留学、短期留学の正式な証明に使用できます。
- 3) 試験対策ウェブサイトへの30時間分のアクセス権が与えられます。

★問い合わせ先★

教養学部附属グローバルコミュニケーション研究センター

メールアドレス [ielts@cgcs.c.u-tokyo.ac.jp](mailto:ielts@cgcs.c.u-tokyo.ac.jp)